

毛が刈られて、キリスト教の聖句が刻まれている

イスラームの聖地・

メッカの方角を向いている

ムスリムがお祈りのときに  
使う絨毯にひざまずくラクダ



ホアン・ヨンビン(黄永純) [中国/フランス] 《鹿駝》2012年

福岡アジア美術館 開館 25 周年記念

ベストコレクションⅡ — しなやかな抵抗

# 超図解ガイド

本ガイドブックは、各作品を読み解くためのヒントを図解的にご紹介するものです

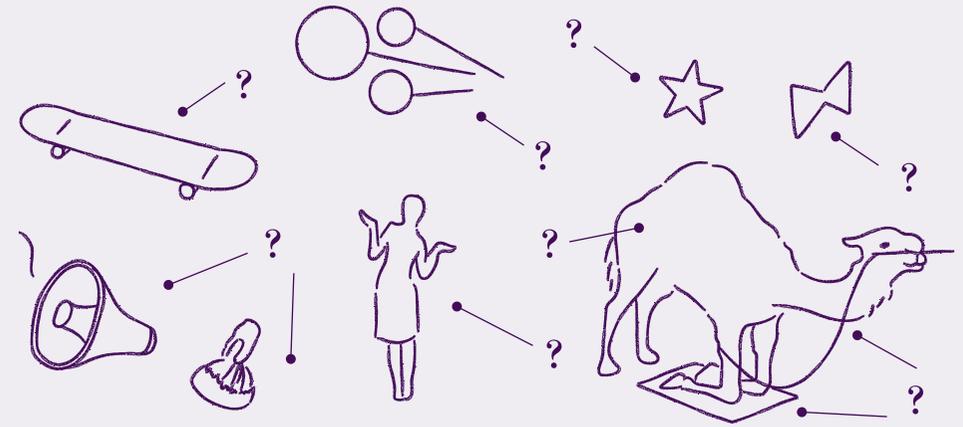


福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

アジアの美術作品を見ていると、「ナニコレ?」と思うようなモチーフにしばしば出くわします。

それぞれの地域の歴史や神話、宗教的なシンボル、作者の個人的な経験…その背景にあるローカルな文脈を知らないと戸惑いを感じてしまうこともあります。それらを理解することで、見える世界が広がっていくのも、アジア美術に触れるおもしろさのひとつです。

本ガイドが、それぞれの作品をより豊かに楽しむ一助となれば幸いです。



## 福岡アジア美術館開館25周年記念 ベストコレクションII—しなやかな抵抗 出品作品リスト

| 作家名             | 作品名                     | 国・地域名   | 制作年       | 技法・素材                  |
|-----------------|-------------------------|---------|-----------|------------------------|
| ホアン・ヨンピン(黄永砫)   | 駱駝                      | 中国/フランス | 2012      | はく製、絨毯、針、紐             |
| リー・ダラブー         | 伝令                      | カンボジア   | 2001/2005 | 写真、スピーカー               |
| リン・ティエンミャオ(林天苗) | 卵 #3                    | 中国      | 2001      | 写真、綿布、糸玉               |
| ラシード・ラーナー       | パレードの間、すべての目は空を仰ぐ       | パキスタン   | 2004      | デジタルCタイププリント・紙、板       |
| ラシード・ラーナー       | 10の違い                   | パキスタン   | 2004      | ビデオ(53秒)               |
| シルパ・グプタ         | 無題                      | インド     | 2004      | インタラクティブ・ビデオ           |
| ルー・ヤン(陸揚)       | 子宮戦士                    | 中国      | 2013–2014 | アニメーション(11分20秒)        |
| ホー・ズーニエン        | ウタマ<br>—歴史に現れたる名はすべて我なり | シンガポール  | 2003      | 転写インク、アクリル・画布、ビデオ(21分) |
| アーイシャ・ハーリド      | ビーナスの誕生                 | パキスタン   | 2001      | 水彩、金箔・紙                |
| アーイシャ・ハーリド      | 形×模様 #1                 | パキスタン   | 2000      | 水彩・紙                   |
| アーイシャ・ハーリド      | 形×模様 #2                 | パキスタン   | 2000      | 水彩・紙                   |
| アーイシャ・ハーリド      | 無題                      | パキスタン   | 2001      | 水彩、金箔・紙                |
| アーイシャ・ハーリド      | 沈黙                      | パキスタン   | 2000      | 水彩・紙                   |
| アーイシャ・ハーリド      | 模様のある沈黙                 | パキスタン   | 2000      | 水彩・紙                   |
| アーイシャ・ハーリド      | アムステルダム #1              | パキスタン   | 2001      | 水彩・紙                   |
| アーイシャ・ハーリド      | 会話                      | パキスタン   | 2002      | 2チャンネルビデオ(120分)        |
| ファン・リジュン(方力鈞)   | シリーズ 2 No.3             | 中国      | 1992      | 油彩・画布                  |

通年展示

## Fukuoka Asian Art Museum 25th Anniversary Best Collection II: Echoes of Resilience List of Works

| Artist                | Work Title                                 | Country/Region | Year      | Medium   |
|-----------------------|--|----------------|-----------|--|
| Huang Yong Ping       | Camel                                      | China/France   | 2012      | Stuffed animal, rug, needle and cord               |
| Ly Daravuth           | The Messenger                              | Cambodia       | 2001/2005 | photographs, speakers                              |
| Lin Tianmiao          | Spawn #3                                   | China          | 2001      | photograph on white cotton scrim, orbs of thread   |
| Rashid Rana           | All Eyes Skywards during the Annual Parade | Pakistan       | 2004      | digital C-type print on paper and board            |
| Rashid Rana           | Ten Differences                            | Pakistan       | 2004      | video (53sec.)                                     |
| Shilpa Gupta          | Untitled                                   | India          | 2004      | interactive video                                  |
| Lu Yang               | UterusMan                                  | China          | 2013–2014 | animation (11min. 20sec.)                          |
| Ho Tzu Nyen           | Utama<br>—Every Name in History is I       | Singapore      | 2003      | transfer ink and acrylic on canvas, video (21min.) |
| Aisha Khalid          | Birth of Venus                             | Pakistan       | 2001      | watercolor and gold leaf on paper                  |
| Aisha Khalid          | Form x Pattern #1                          | Pakistan       | 2000      | watercolor on paper                                |
| Aisha Khalid          | Form x Pattern #2                          | Pakistan       | 2000      | watercolor on paper                                |
| Aisha Khalid          | Untitled                                   | Pakistan       | 2001      | watercolor and gold leaf on paper                  |
| Aisha Khalid          | Silence                                    | Pakistan       | 2000      | watercolor on paper                                |
| Aisha Khalid          | Silence with Pattern                       | Pakistan       | 2000      | watercolor on paper                                |
| Aisha Khalid          | Amsterdam #1                               | Pakistan       | 2001      | watercolor on paper                                |
| Aisha Khalid          | Conversation                               | Pakistan       | 2002      | 2 channel video (120min. each)                     |
| Year-round exhibition | Series 2 No.3                              | China          | 1992      | oil on canvas                                      |

Year-round exhibition

毛が刈られて、**キリスト教**の聖句が刻まれている

「**金持ちが神の国に入るよりも、  
駱駝が針の穴を通る方が  
まだたやすい**」  
新約聖書  
マタイによる福音書 19章 24節

…というのがフランス語で書かれている



### 異なる宗教のモチーフ

ただし、どちらもその起源は  
中東と深く関係している

**ムスリム**がお祈りのときに  
使う絨毯にひざまずくラクダ



タイトル

# 駱駝

## Camel

2012年  
はく製、絨毯、針、紐  
162.6×299.7×66 cm

発表時期: この《駱駝》が発表されたのは、中東各地で「アラブの春」と呼ばれる民主化運動が起きた時期。その後の混乱の中で難民が急増し、多くの難民が流入したヨーロッパでは、ムスリム移民への偏見や差別が激化する状況も生まれた。

シルクロードを行ったり来たり

### ラクダ → 東洋と西洋をつなぐ生きもの

- アラブでは、**富の象徴**  
家畜としてラクダをたくさん所有していることがお金持ちの証
- キリスト教では、**重い荷に耐える姿から、  
人類の罪を背負ったイエス・キリストにも重ねられる**
- イスラームでは、**預言者ムハンマドの乗りもの**  
お祭や儀式で**神様への生贄**として捧げることもある

### 鼻に針が通っている

家畜のラクダの鼻に刺す棒みたい？



### イスラームの聖地・ メッカの方角を向いている

そうやって展示するように、  
作者が指定している

キリスト教とイスラームの双方において重要な生きものであり、東西を結ぶシルクロードの象徴でもある駱駝。本作は、一頭の駱駝の中に複数の文化圏の文脈を重層的に編み込むことによって、今日も続く異なる宗教同士の対立や経済的覇権をめぐる衝突を鋭く批評する。

アーティスト **ホアン・ヨンピン(黄永砵)** Huang Yong Ping [中国・フランス 1954-2019]

1980年代の中国において挑戦的かつ過激な活動を展開したのち、1989年以降パリを拠点に活動。東洋・西洋における動物や昆虫の文化的伝統や象徴性の差異を巧みに用い、現代まで続く社会の矛盾を文明的観点から批判する壮大な作品を制作。アジア美術を世界に知らしめた鬼才のひとり。

**肖像写真** 1970年代にクメール・ルージュ<sup>※</sup>の独裁政権下で**伝令**として働かされ、収容所で処刑された少年少女の写真が並ぶ。それに加えて、ここには彼らとは**無関係**の1998年<sup>※</sup>の子どもの写真2枚がまぎれ込んでいる。しかし、それがどれなのかは明かされていない。

※クメール・ルージュ:カンボジア共産党のこと。国民を農村へ強制移住させ、通貨を廃止するなど、急進的な共産主義政策を取った。また同政権下ではインテリ階級をはじめ多くの人々が虐殺された。  
※1998年:クメール・ルージュの党首であったポル・ポトが死去した年。

# 伝令

タイトル

## The Messenger

2001/2005年  
写真、スピーカー

緊迫した時代状況を思わせる一連の記録の中に異質な要素を介入させ、その確かさを揺らがせることで、記録や歴史の語りから私たちが読み取っている「真実」とは何なのかを問いかける。

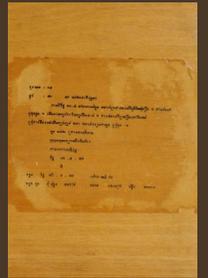
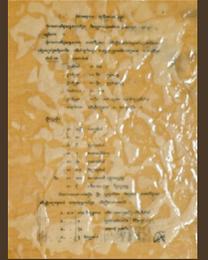
アーティスト **リー・ダラブー** Ly Daravuth [カンボジア 1971- ]

国内の動乱を避けて幼少期に海外へ渡り、フランスで美術を学んだのち、20代半ばで帰国。非営利のアートスペース「リュム」を運営し、カンボジアの同時代作家を紹介しつつ、クメール文化に関する書籍の出版も手がけるなど、多方面から同国の文化振興に努めてきた。



中央のスピーカーからは、伝令が運んだメッセージを読み上げる声や、クメール・ルージュ時代のプロパガンダ・ソングが流れる。

## メッセージ



「スバイの掃討作戦終了の報告」  
「ウルクという人物については、午後10時か11時には搬送予定。」  
「1977年8月30日の犯罪について」  
「逃亡者の1人は、我らの地雷で死亡したが、残りの2人は国境を越えた。」…

肖像写真の間には、**伝令の運んだメッセージ**が並んでいる。



**悲劇を物語るかのような肖像**  
彼らは犠牲者なのか？  
政権に仕えた協力者なのか？  
それとも無関係な人々なのか…？

# 卵 #3

## Spawn #3

2001年  
写真、綿布、糸玉

自身の裸の写真につながる無数の糸玉をもって、妊娠を機に作者が疑問をもつようになった、女性が担わされる社会的規範の重さを描く。

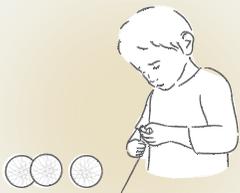
アーティスト リン・ティエンミャオ(林天苗)

Lin Tianmiao [中国 1961- ]

綿や絹の糸を使ったインスタレーションで、中国現代美術を代表する「女性アーティスト」として注目を集めてきた。一方で、そのような評価のされ方自体も含め、女性性や母性をめぐる社会状況や規範に対して問いを投げかけ続けている。

### 子ども時代の手伝いの記憶

作者は子どもの頃、母が裁縫のために古布をほどくときに、糸を巻く作業を手伝わされていた。子どもの作者は膨大な時間のかかるこの仕事を嫌っていたが、同時にその経験は作者の中に深い印象を残した。



## 写真

### 出産後の作者自身。

色がなく、髪の毛もなく、化粧もしておらず無表情で、「女性らしさ」とされる要素の多くが消去されている。

## 糸玉

### 女性が一生のうちに排出する多数の卵子を表現。

同時に、それが女性を妊娠・出産・育児に固定する社会的な重石でもあることを暗示。

#### 糸の仕事と性別

糸を使った裁縫の仕事は、しばしば女性性と結びつけられる。

#### 糸を巻く作業

やさしく「包み込むこと」とであると同時に、見方を変えれば「縛り上げること」でもある。

#### 球体

生命の最も基本的な形。卵も細胞も丸い。



# パレードの間、

# すべての目は空を仰ぐ

All Eyes Skywards during the Annual Parade

多宗教国家だが、約80%がヒンドゥー教徒

# パキスタンとインド

イスラームを国教とし、約90%がムスリム

イギリスの植民地支配から、パキスタンとインドに分離・独立したのは1947年のこと。パキスタンの建国記念日は8月14日。インドは翌8月15日だ。

この二つの国は政治的には対立する場面が多いが、文化的には共通する部分も大きい。本作は両国のこの二重性を背景にしている。

掲げられている緑の旗はパキスタンの国旗。



拡大

人々の目を惹きつけるスペクタクル 私たちは自分が見たいものを見ているのか？ それとも他の誰かが見せたいものを見せられているのか？

合わせ鏡のような構造

建国記念日の航空ショーに集まったパキスタンの群衆。みんな熱心に飛行機を見上げている。

2004年 デジタルCタイププリント・紙、板 243×610cm

パキスタン建国記念日の航空ショーに目を奪われる人々の姿と、無数のインド映画のサムネイル画像が、ひとつの画面上で一体化。世界はひとつの見方だけで捉えることはできず、ときには思わぬものが重なり合っていることが示唆される。

アーティスト ラシード・ラーナー Rashid Rana [パキスタン 1968- ]

既存のデジタル画像をつないだ平面や映像、インスタレーションで知られるパキスタン現代美術のスター作家。巧みな表現手段によって、「見えるもの」と「見ること」の間の矛盾や、スペクタクルに潜む権力構造をあぶりだす。

「なんと!!」 何千ものインド映画のサムネイルからできている!!

拡大



思えば映画も人の目を惹きつけてやまないスペクタクルだ

ちなみに、インド映画界を代表するスーパースター俳優「三大カーン」はみなインド生まれのムスリムだ

※ 三大カーン  
シャールク・カーン  
アミール・カーン  
サルマーン・カーン

## 近い? 遠い? インド映画とパキスタンの距離感

本作が制作された2004年当時、インド映画はパキスタンでも大人気だった。しかし、両国の政治的緊張が高まっている時期には、相手国の映画上映に制限がかかる場面もあり、政治的対立は文化環境にも影響を与え続けている。

## ポーズ

ポーズの中には教練のほか、買い物をしたり注文の電話をかけたりといった現代人の消費生活を象徴する動作も含まれる。

観客がマウスでクリックすると、女性が軍隊の教練のポーズを繰り返す。そして周囲の女性たちもみな次々に同様の動作を真似ていく。



## 7人の女性たち

等身大で壁面に投影されている。  
いずれも演じているのはアーティスト自身。



## かけ声

人物のポーズに合わせて命令のかけ声がリズムカルに流れる。

“ONE TWO THREE FOUR ONE TWO THREE FOUR”

“一 二 三 四 一 二 三 四”

タイトル

# 無題

## Untitled

2004年  
インタラクティブ・ビデオ

観客のマウス操作によって、迷彩ファッションの若い女性たちが指令のかけ声とともに軍隊の教練のポーズを始める。ビデオゲームの形式を借りながら、人間の中にある他者を支配しようとする欲望や、逆に自ら支配を受け入れて行動してしまう危うい心理を浮き彫りにする。

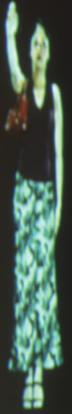
## 迷彩柄

登場する女性たちはみな迷彩柄をまとっている。  
これは2001年のアメリカ同時多発テロの後、作者の住むムンバイで対テロ戦争キャンペーンの中で流行したものの。

“WAR ON TERROR

WAR ON TERROR”

“テロへの戦争 テロへの戦争”



“JOG JOG JOG STAY ON THE SPOT”

“走れ走れ 走れ その場に止まれ”

“LOOK STRAIGHT DON' T SEE STAY”

“前向け 見るな 休め”

アーティスト シルパ・グプタ Shilpa Gupta [インド 1976- ]

鋭い皮肉を交えながら、アイデンティティ、暴力、格差といった社会問題に切り込む。インタラクティブな映像やプロジェクトなど、作品への参加をとおして観客自らに問題の核心を経験・認識させる表現方法をしばしば用いる。



## 血能飛行

足の間から血液を放出して飛行!



## 衛生巾滑板

ナプキンのスケボーで滑走!



破天荒すぎるけどむやみにカッコイイ

常識を次々に裏切つていく必殺技の数々……!

性の境界を超えた、  
無性のスーパーヒーロー



## 胎盤防御

胎盤のシールドで防御!



子宮戦士は胎盤からエネルギーを補給することもできる

タイトル

UterusMan

# 子宮戦士

矛盾をはらんだような設定は、「性の区別がないのが理想」という作者の考え方を反映

2013-14年  
アニメーション 11分20秒

子宮の形状から着想されたオリジナルキャラクター「子宮戦士」。子宮という生殖器官とその機能をモチーフにした必殺技で戦うという、型破りな想像力が炸裂した高密度なアニメーションは、性をめぐる固定観念を鮮やかに覆していく。

アーティスト ルー・ヤン(陸揚) Lu Yang [中国 1984- ]

幼少期から日本のマンガやアニメに深く親しみ、作品の端々にもそれらの影響が色濃く感じられる。近年はモーションキャプチャーなどの技術を駆使しながら、仏教の世界観を独自の造形感覚で描いた映像を数多く発表し、世界的な注目を集め続けている。



## 脐帯之鞭攻撃

ヘソの緒をムチにした攻撃!

## 盆骨戦車行走模式



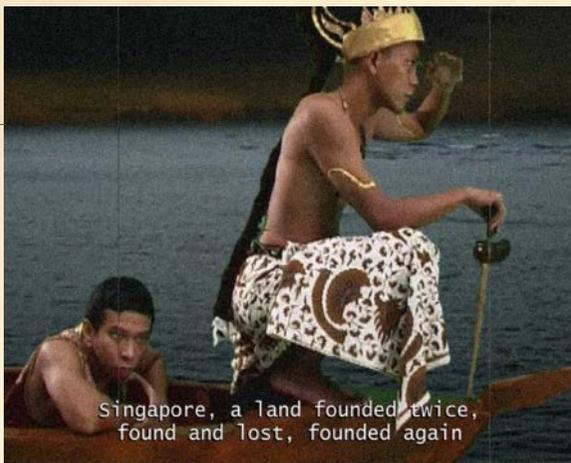
骨盤の戦車に乗って疾走!

「模式」は中国語で「モード」という意味なんだって

幻のように現れては消えていく、互いに矛盾する無数の人物と エピソード  
シンガポールの名づけ親とされるウタマとはいったい何者なのか？

「正しい歴史」は存在するのか？

ウタマの祖先? — 覇者の系譜



多くの異名を持つシンガポールの名づけ親

サン・ニラ・ウタマ

(1179-1226 or 1299-1347)

“自分の真実を 知ろうとするものは  
影像や 幻や 光景しか  
見つけること ができないだろう、”

ウタマの横顔? — いくつもの別名



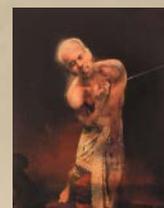
スリ・トリ・ブアナ  
「三世界の主」の意。現在のシンガポールとインドネシア・スマトラ島の一部を統治したとされる。



サン・シ・ベルバ  
マレー世界の主要な王朝の偉大な先祖とされる人物。ウタマと同一人物とも、ウタマの兄あるいは父という説もある。

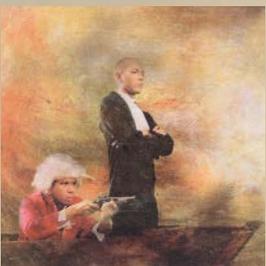


パラメスワラ  
「女王の配偶者」の意。14世紀末に成立したマラッカ王国の初代国王とされる。



イスカンダル・シャー  
マラッカ王国の2代目国王。パラメスワラのムスリム改宗後の名ともいわれる。先の王を殺して王座を奪い取り、海賊になったという噂も…。

彼らもウタマ?? — 海を越える開拓者



シンガポールの「建設者」



鄭和 (1371頃-1434頃)

南海遠征を指揮した武將



キャプテン・クック (1728-1779)

海軍士官にして太平洋の探検家



クリストファー・コロンブス (1451-1506)

新大陸の「発見者」



ヴァスコ・ダ・ガマ (1469?-1524)

インド航路の開拓者

トーマス・スタンフォード・ラッフルズ (1781-1826)  
ラッフルズは、1819年にイギリス植民地としてシンガポールが誕生した時の英国植民地行政官。「ウタマの存在は非科学的」として、シンガポールという国の歴史の始まりをこの年と考える歴史観も根強い。シンガポールでは、ラッフルズの名を冠したホテルや学校も至る所に存在する。

Utama—Every Name in History is I

タイトル

ウタマ

—歴史に現れたる名はすべて我なり

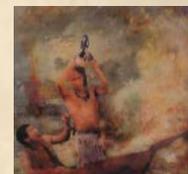
シンガポールの命名者とされる王ウタマを軸に展開する、絵画と映像による作品。いくつもの異名を持ち、無数の人物や逸話と結びつけられるウタマの像は、幻のように現れては消えていく。作者はウタマを通して歴史の虚構性を炙りだすが、同時にその虚構にこそ人間の想像の可能性を見いだしている。

ウタマの逸話

王冠の放棄

ウタマが船でシンガポールに向かう途中、大嵐が巻き込まれた。ウタマが被っていた王冠を海に投げ入れると、嵐は静まった。

“最も偉大なのは、  
自分の権力を放棄した人が持つ権力です!”



王冠を投げ捨てるウタマ

「シンガプーラ」=「ライオンの都」と命名

ウタマがシンガポールに上陸したとき、ライオンと出会い、この地を「シンガプーラ」=「ライオンの都」と名付けたのが国名の由来。よく知られるマライオンもこの逸話をもとに誕生した。しかし、シンガポールには本来ライオンは生息していない。

“ライオンだ、ライオンだった、ライオンに違いない!”



王冠を断る ジュリアス・シーザー  
狩猟の神 ディアナ

ウタマのこれらの逸話は、古代ローマのエピソードや古代ギリシャの神話にも重ねられる



ライオンを狩るウタマ



2003年  
転写インク、アクリル、画布、映像 (21分)

アーティスト **ホー・ズーニエン** Ho Tzu Nyen [シンガポール 1976- ]

歴史や文化がはらむ矛盾や不確かさをテーマに、シンガポールや東南アジアの歴史を独自にひもとく作品を制作。近年は、日本と東南アジアの関係の歴史を取り上げた作品も多数発表している。

# Birth of Venus

2001年  
水彩、金箔・紙 28.9×28.8cm

色鮮やかな幾何学模様の中で蓮の花弁の上にうずくまる、ブルカを着たビーナス。ムスリムの女性が受ける暴力や抑圧の問題に言及しながら、同時に西洋的な美の基準が普遍的なものとして押し付けられる状況に疑問を投げかける。

アーティスト **アーイシャ・ハーリド**

Aisha Khalid [パキスタン 1972- ]

パキスタン現代細密画の旗手のひとり。古都ラホールで細密画を学び、伝統的な技法を受け継ぎながらも、ジェンダーを始めとする今日的な問題をテーマにした作品によって細密画の世界に革新を起こした。

このビーナス



あのビーナスと

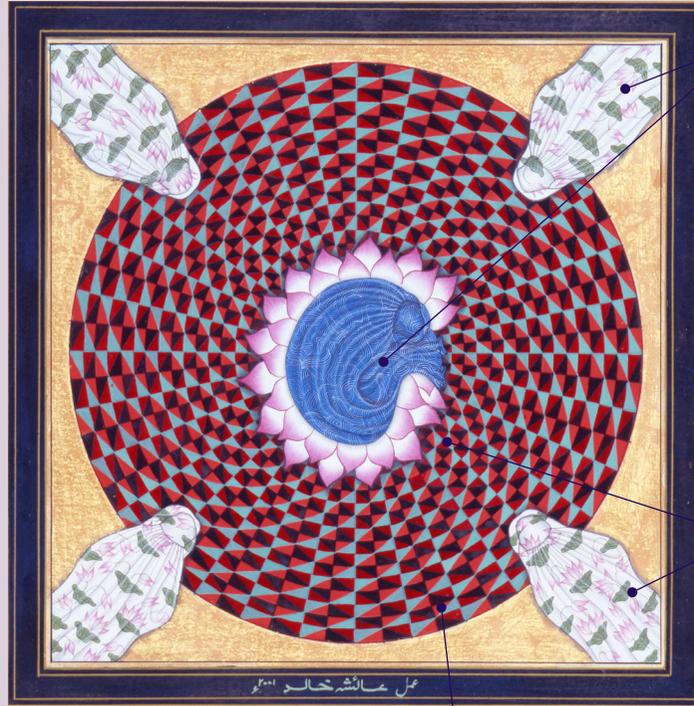
ビーナスはローマ神話の愛と美の女神。「ビーナスの誕生」と聞くと、イタリア・ルネサンスの巨匠、ボッティチェリの作品を思い浮かべる人が多いかもしれない。

## 細密画とは？

細密画(ミニアチュール)とは、対象を非常に細かく緻密に描いた小さな絵画のこと。イスラーム圏では、特に宮廷絵画として発展した。

細密画の長い伝統を持つパキスタンでは、1990年代以降、アーイシャのような若い世代を中心に、細密画の技法や伝統を守りながらも、現代的なテーマで制作をするアーティストが登場した。

作者のサイン



## ブルカ

ブルカとは、イスラームを信仰するムスリムの女性が着用し、ヴェールのように全身を覆う衣装。女性の性的魅力を隠して、性被害や暴力に合わないようにするのが目的とされる。ヨーロッパ等ではブルカは女性への抑圧の象徴と見なされることもあり、一部の国では着用が禁止されている。しかし、ムスリム女性の中には、イスラーム教徒としての誇りから、あるいは女性である自身に向けられる評価や欲望の視線から免れるという目的から、ブルカを自分の意志で身に着ける人もいます。



## 蓮の花

蓮の花から生まれようとするビーナスを蓮の花柄のブルカを着た女性たちが囲む。作者にとって、蓮の花は東洋的なものの象徴。作者のほかの作品にも、蓮の花のモチーフは頻りに登場する。この作品の中央の蓮の花の形は、貝殻のようにも見える。



## 幾何学模様

カラフルな幾何学模様がビーナスをぐるりと囲む。幾何学模様は、植物文様やカリグラフィーと並ぶイスラーム美術の重要な一要素として、独自の発展を遂げてきた。作者は、自分が生まれ育った古い家にあったタイルの床から、幾何学模様に興味を持つようになったとか。

自らの裸体を晒す西洋のビーナスと、二人のビーナスは、どのような視線に

ブルカで自らを包みこむ本作のビーナスさらされ、何を想う？

福岡アジア美術館 開館25周年記念

## ベストコレクションⅡ — しなやかな抵抗

2024年9月14日(土) - 2025年4月8日(火)

主催:福岡アジア美術館

協力:公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

### [展覧会]

企画 栗原ふみ(福岡アジア美術館)

### [超図解ガイド]

編集 佐々木玄太郎(福岡アジア美術館)

執筆 佐々木玄太郎、栗原ふみ、五十嵐理奈(福岡アジア美術館)

デザイン・イラスト 長末香織

写真 山崎信一(p.03-04)

印刷 株式会社昭和堂

発行 福岡アジア美術館

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階

Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105

faam.city.fukuoka.lg.jp

発行日 2024年9月14日

著作権 発行者 ©2024、禁無断転載